

ザンビア医学分野における 日本の貢献

司 会

北海道大学大学院獣医学研究科 特任教授
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 統括 **喜田 宏**

講 演



ザンビア保健省・大学研究教育病院・院長
Lackson Kasonka 博士

ザンビア共和国はアフリカ大陸南部に位置する内陸国で、日本の約2倍の国土に、約1,300万人の人々が暮らしています。1964年のザンビア国独立以来、日本・ザンビア両国は様々な分野で友好協力関係を発展させてきました。特に、長期にわたる国際協力機構（JICA）や日本の大学研究機関の協力は、ザンビアの公衆衛生の向上にとって欠かせないものでした。本講演では、ザンビアの医学分野の現状と北海道大学をはじめとする日本機関の貢献についてお話します。

と き

2013年5月13日 月 17:30～18:30

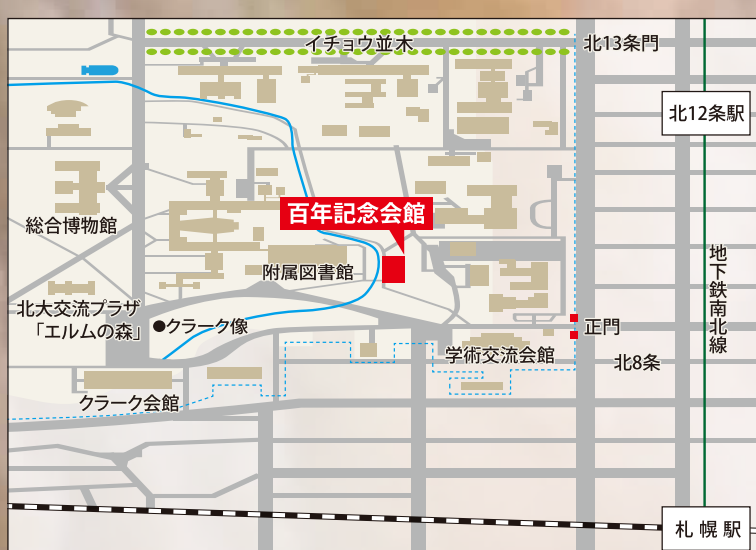
ところ

北海道大学百年記念会館

札幌市北区北8条西5丁目

アクセス

- JR「札幌駅」下車、徒歩10分
- 市営交通・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車、徒歩15分
- 市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分



主 催

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター
科学技術振興機構（JST）
国際協力機構（JICA）

お問い合わせ

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門 鈴木定彦

TEL.011-706-9503 E-mail:suzuki@czc.hokudai.ac.jp

・参加費**無料**
・事前申し込み**不要**
・同時通訳あり

Japanese contributions to the field of public health in Zambia
Dr. Lackson Kasonka (Senior Medical Super Intendent,
University Teaching Hospital, Ministry of Health, the Republic of Zambia)

